

備前市の紹介

概要

備前市は、岡山県の南東部、兵庫県と接する県境のまちです。人口は約 4 万人、東西に 25km、南北に 30 km、面積は、258.23k m²で岡山県土の 3.6%を占めています。

北は、美作市に接し、南は瀬戸内海に面しており、東部は兵庫県赤穂市と上郡町に接し、西部は、岡山市、赤磐市、和気町、瀬戸内市に接しています。

地形は、総面積の約 80%が山林で、平野部が少なく、可住地域は山間部や沿岸部に、ある程度のまとまりをもって分散しています。

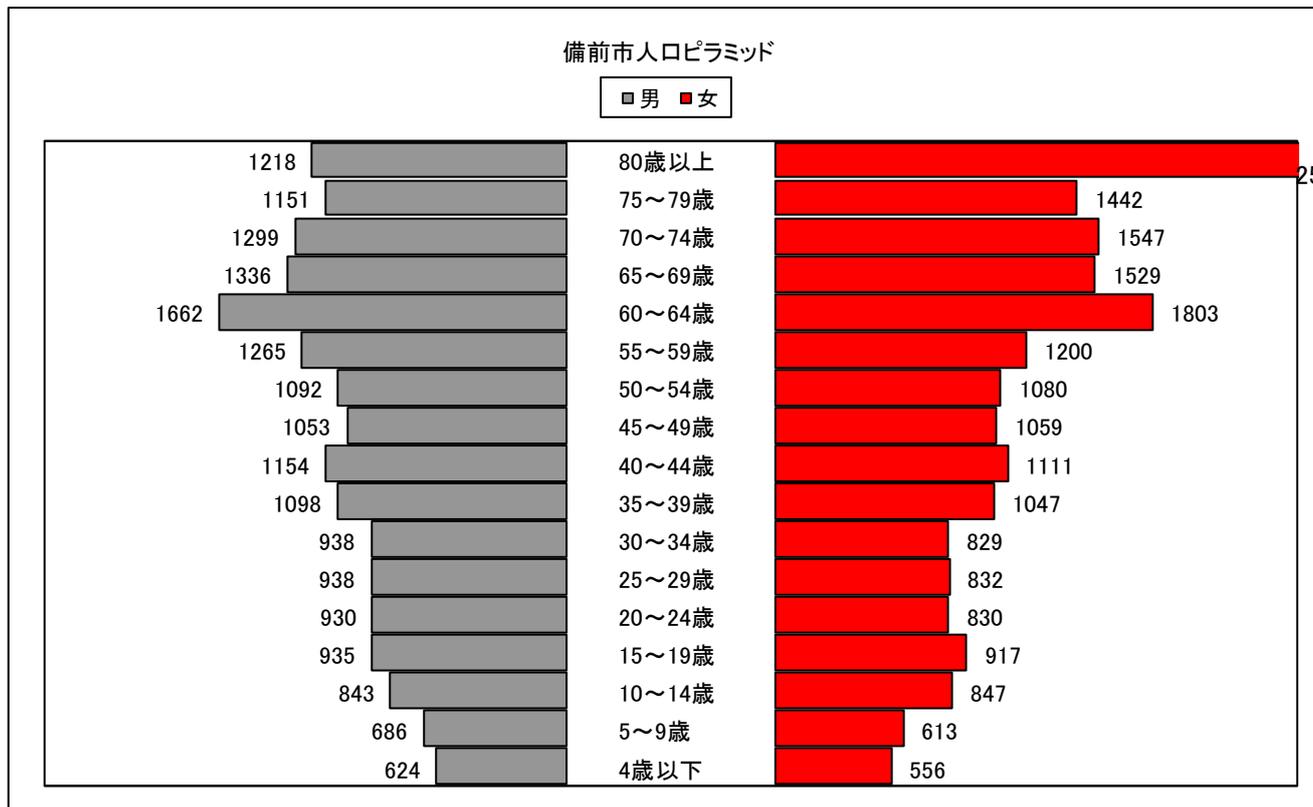
2005 年（平成 17 年）3 月 22 日、備前市、日生町、吉永町が合併し、「新備前市」としてスタートしました。



人口と面積

面積	258.23km ²
人口	37,990 人 (16,079 世帯)
(住基台帳)	男 18,211 人
(H25. 3 月末)	女 19,779 人

人口ピラミッド



工業

備前市は、耐火物の主原料であるろう石が産出されていたことから、耐火物関連の企業が集積しています。

昭和40年代に最盛期を向かえ、現在でも国内の耐火物生産の三割を占めています。

備前市における製造品出荷額は、23,042,650万円と県内5番目（27市町村）を誇っています。

片上湾沿岸の様子



気候・環境

気温は、日平均（3年間平均）16度、年間降水量（3年間平均）は1200mmと一年を通して温暖・少雨で、典型的な瀬戸内海式気候です。岡山県が「晴れの国」を宣言しているとおおり、快晴の日が多く、風雪被害も少ない、大変恵まれた気候です。

市の西部には、一級河川の吉井川が中国山地から清流を運んでおり、市内に二つある水

源地の1つでは、吉井川の伏流水（井戸水）を利用しています。その水質は清澄、水量は豊富で、おいしく安全な飲み水が家庭に送られています。近年、渇水による深刻な影響はありません。



保育・教育

市内の認可施設として、保育所12ヶ所、幼稚園9園（認定こども園の2園を含む）と多く、未就学の児童を受け入れることができます。伊部保育園や日生保育園では一時保育や休日保育もあり、保護者の皆様にもよろこばれています。

乳幼児が医療を受けた場合、その医療費を公費で負担する乳幼児医療費支給制度を設けています。外来については満6歳になる月の末日まで、入院については就学前までの医療費が対象です。子育て家庭の安心と子ども

の健康を支援しています。

小学校は市立13校、中学校は市立5校があります。伊部小学校では、備前市の伝統産業である備前焼を作るという授業もあり、地元の文化の継承を目指しています。

高校は、総合学科を掲げる県立備前緑陽高等学校と夜間定時制普通科の市立片上高等学校があります。



<市内の道路・交通状況>



JR

市内には、JR赤穂線、山陽本線が通っています。赤穂線には香登（かがと）駅、伊部（いんべ）駅、西片上（にしかたかみ）駅、備前片上（びぜんかたかみ）駅、伊里（いり）駅、日生（ひなせ）駅、寒河（そうご）駅の7つの駅があり、山陽本線には吉永（よしなが）駅、三石（みついし）駅があります。

国道・県道

国道2号（大阪府大阪市－福岡県北九州市）、国道250号（兵庫県神戸市長田区－岡山市）、国道374号（備前市－津山市）の3つの国道が伊部で交差しています。南部には岡山ブルーライン（岡山市君津－備前市）（平成16年4月1日から無料）も走っており、東西からの交通アクセスは非常に良いところです。

高速道路

市内中央を山陽自動車道が東西に走っています。市役所から関西方面へ向かう場合は備前ICへ（約10分）、岡山方面へ向かう場合は和気ICへ（約10分）を利用すると便利です。

東備港

公共埠頭の概要

位置	名称	水深	船席数	延長	関連施設	摘要
A	(-)4.5m 岸壁	(-)4.5m	3	180m	上屋・固定式荷役機械(ジブクレーン)・野積場	SOLAS 条約対応
B	(-)5.5m 岸壁	(-)5.5m	2	180m	野積場	SOLAS 条約対応



港湾法：地方港湾 港則法：適用港湾（日生港、片上港、鶴海港を含む） 関税法：不開港

備前市と近隣市町人口

備前市役所を基点として半径 20 キロメートル、車でおおよそ 30 分以内とした圏域での人口は、約 25 万人です。

市町名	推計人口
備前市	37,694 人
瀬戸内市	38,804 人
和気町	15,349 人
赤穂市	50,431 人
上郡町	16,509 人
岡山市東区	95,931 人

※平成 25 年 7 月 推計人口

